

令和6年度 郡市医師会
看護学校（院）担当理事・教務主任合同協議会

と き 令和6年6月6日（木）15：00～
ところ 山口県医師会6階大会議室

〔報告：副会長 沖中 芳彦〕

開会挨拶

加藤会長 令和6年度の医師会立看護学校（院）における応募者数及び入学者数ともに、全学校において定員割れの厳しい状況である。合わせて専任教員の不足及び実習施設の不足等が問題となり、経営が難しい時代になっている。看護職員の処遇改善については令和4年から「看護師処遇改善評価料」が診療報酬に導入され、令和6年度診療報酬改定においても「ベースアップ評価料」が新設され、国の施策が実施されているところである。

他方、訪問看護ステーションにおいては黒字化されている様子であり、このあたりの対策と看護学校（院）問題との関係が上手く重ならないかと思案している。

本日は活発に情報交換をしていただき、中身の濃い協議会になるようお願い、挨拶とする。

協議事項

1 学校（院）の運営状況について

令和6年度は昨年度に引き続き、医師会立5

校（院）7課程すべてにおいて、応募者数が定員を下回っており、非常に厳しい状況が続いているが、昨年よりも若干の持ち直しが窺えるため各校の意見を後ほど伺いたい（協議事項4「意見・要望」を参照）。

入学者についても、定員に対する充足率が66.2%であり厳しい結果であるが、一方で大学の看護系学部についてはほぼ100%であることから、ますます大学志向が強くなっている。

看護師3年課程・2年課程の令和5年度卒業者数に対する県内就業者数の割合は極めて高い。准看護師課程卒業者は多くが進学している。

令和5年度卒業者の看護師国家試験の合格率は81.5%、准看護師試験の合格率は100%であった。

2 山口県の取り組みについて（県医療政策課）

令和6年度看護職員確保対策事業については、図（次頁掲載）のとおり。

出席者

郡市担当理事及び教務主任

熊毛郡	担当理事	齋藤 良明	防府会 長	山本 一成
吉南	担当理事	嘉村 哲郎	防府 担当理事	豊田 秀二
吉南	教務主任	岩城 愛香	防府 教務主任	小谷美由紀
宇部市	担当理事	藤野 隆	防府 教務主任	山本美恵子
宇部市	経営マネージャー	安平 秀行	下松 担当理事	堤 要介
宇部市	教務主任	前田 和子	岩国市 担当理事	藤本 啓志
宇部市	教務主任	奥 由美	光市 担当理事	松島 寛
萩市	担当理事	若松 研弥	長門市 担当理事	桑原宏太郎
萩市	教務主任	中村 幸恵		
徳山	副校長	猶貞 信江		
徳山	教務部長	隅 初美		

山口県健康福祉部
医療政策課

副課長 原 秀樹
看護指導班主幹 國富 和美

山口県医師会

会 長 加藤 智栄
副 会 長 沖中 芳彦
常任理事 茶川 治樹
常任理事 縄田 修吾
理 事 木村 正統

看護職員の確保定着を図るため、「養成確保」「離職防止・再就業支援」「資質向上」を柱とした看護職員確保対策を実施する。

令和6年度看護職員確保対策事業		対 象				
		小中高生	看護学生	看護職員		
				新任期	中堅期	管理期
A 養成確保	1 看護師等養成事業					
	2 看護師等修学資金貸与事業					
	3 中小病院等看護職員確保支援事業					
	4 県外看護学生Uターン応援事業					
	5 訪問看護提供体制推進事業					
	6 やまぐちナースネット事業					
	7 プレナース発掘事業					
	8 准看護師試験実施事業					
	9 E P Aに基づく外国人看護師候補者就労支援事業					
B 離職防止・再就業支援	1 ナースセンター事業					
	2 看護職員再就業支援相談会事業					
	3 医療勤務環境改善支援センター運営体制整備事業					
	4 勤務環境改善研修会事業					
	5 病院職員子育てサポート事業					
	- 訪問看護提供体制推進事業（再掲）					
	- やまぐちナースネット事業（再掲）					
	- 看護職員メンタルサポート事業（R5終了）					
C 資質向上	1 新人看護職員研修事業					
	2 認定看護師課程派遣助成事業					
	3 認定看護師等活躍推進事業					
	4 感染管理体制強化事業					
	5 特定行為研修派遣助成事業					
	6 看護教員養成講習会事業					
	7 実習指導強化推進事業					
	8 助産実践能力向上事業					
	- 訪問看護提供体制推進事業（再掲）					
	- 訪問看護師育成支援事業（R5終了）					
看護職員確保対策協議会						

図 令和6年度の看護職員確保対策事業（県医療政策課作成）

3 県医師会の取り組みについて

(令和6年度事業)

「医師会立看護職員養成施設への助成」については、5校(院)7課程すべてについて30万円の増額を図る。また、本年度、防府看護専門学校が開催の引受けとなる「中四九地区医師会看護学校協議会」については100万円の運営費助成を行う。

- (1) 郡市医師会看護学校(院)担当理事・教務主任合同協議会の開催
- (2) 医師会立看護職員養成施設への助成
- (3) 医師会立看護学校(院)に関する基本調査の実施
- (4) 医師会立看護職員養成所問題への対策
- (5) 中四九地区医師会看護学校協議会への出席
- (6) 都道府県医師会看護問題担当理事連絡協議会への出席
- (7) 山口県実習指導者養成講習会受講者への助成
- (8) 日本准看護師連絡協議会へ賛助会員としての加入
- (9) 准看護師を対象としたスキルアップ研修会の開催時の助成
- (10) 中四九地区医師会看護学校協議会への学校(院)年会費の助成
- (11) 看護教員養成講習会の通信受講者の支援
- (12) 医師会立看護学校(院)入学募集広報活動等(オープンキャンパス開催時の助成を含む)の支援(1校50万円)
- (13) 中四九地区医師会看護学校協議会の運営費助成

4 郡市医師会、看護学校(院)からの意見要望

(1) 最近の応募者数の推移について(その原因と対策)

少子化や看護教育の大学化、看護職以外でも求人が多く、就職率もよくなっていることが、入学者減少の要因となっている。【吉南准看護学院】

今回は、昨年より入学者は増えたが、定員には達していない。少子化や医療看護福祉系への関心

の低下、また大学志向も影響しているのではない。

対応策としては、積極的な高校訪問や進路説明会への参加。SNS、ホームページを活用しての学院PRを行う。ハローワークへも働きかけ社会人のリカレント教育としてもPRしていただくなどの取組みを行っていく。【萩准看護学院】

原因：少子化(18歳年齢の減少)、4年制大学志向学生の増加。

対策：学校訪問、進路ガイダンスへの積極的な参加による学校紹介、募集依頼。

【宇部看護専門学校】

大学の増加と少子化により応募者の減少が止まらない。

入試科目の見直しや学校のPRなど力を入れているが、歯止めをかけることができない。

【防府看護専門学校】

原因：18歳人口の減少及び大学への進学者が多くなっているため、また、企業への就職率が良くなっていることに伴い、社会人の受験者も減少。

対策：令和2年度より、指定校推薦入学試験を取り入れた。また、社会人(B日程)入学試験については、試験科目を令和2年度より国語総合(古文・漢文除く)、一般教養から小論文に変更し、一般入学試験(A・B・C日程)については、試験科目よりコミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱを外している。【徳山看護専門学校】

(2) 意見・要望

補助金の継続をお願いしたい。

【吉南准看護学院】

①経営が厳しいため、補助金については引き続きお願いしたい。

②若者に対するSNS等を用いたアピールを、引き続き充実していただきたい。

③学びなおしも含め、既卒者の受験生を確保するために、ハローワーク等に医師会や医療政策課からもアピールをお願いしたい。【萩准看護学院】

- ・専任教員の確保に難渋した時期がある。看護協会へ協力を依頼するなど、何かよい智恵はないか。
- ・講師の確保にも困っている。県医師会がオール山口で相談に乗っていただけると嬉しい。

【防府看護専門学校】

現在、国・県からの補助金は、
看護師（3年課程）養成所「生徒数に1人当たり15,500円を乗じて得た額」
看護師（2年課程）養成所「生徒数に1人当たり17,600円を乗じて得た額」
准看護師養成所「生徒数に1人当たり13,100円を乗じて得た額」
となっている。

一方、大学は保健系で1人当たり177万7千円となっている。同じ看護師を育成するのに、この格差は如何なものか。補助金の増額を国に要望していただきたい。【徳山看護専門学校】

5 その他

(1) 中四九地区医師会看護学校協議会の案内について

防府看護専門学校の担当で、8月18日（日）に現地51名、オンライン380名のハイブリッ

ド方式で開催される。テーマは「リカレント教育のすすめ ～学生・生徒のための『学び直し』を支援する看護教育～」である。沖中も講師として参加する。参加費としての学校負担金（年会費は小規模校30,000円、大規模校80,000円）は県医師会が助成する。

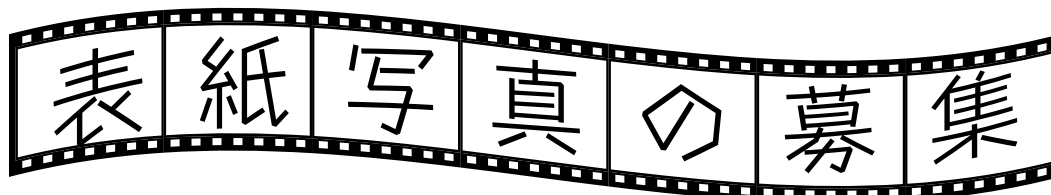
(2) 看護学校（院）PRの効果検証アンケートの結果について

PRの効果アンケート結果からは、相変わらず「出身校からの紹介」「先輩からの紹介」「家族、友人等からの紹介」が多いが、コロナ禍が一段落し、オープンキャンパスが実施できるようになったことから、その有効性も見えて取れる。

YouTubeは効率が悪く、SNSを利用するほうがよいとの指摘もあった。

(3) 令和7年度学生募集ポスターについて

例年どおり準備するので利用願いたい。



山口県医師会報の表紙を飾る写真を随時募集しております。
アナログ写真、デジタル写真を問いません。
ぜひ下記までご連絡ください。
ただし、山口県医師会会員撮影のものに限ります。



〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会総務課内 会報編集係
E-mail: kaihou@yamaguchi.med.or.jp